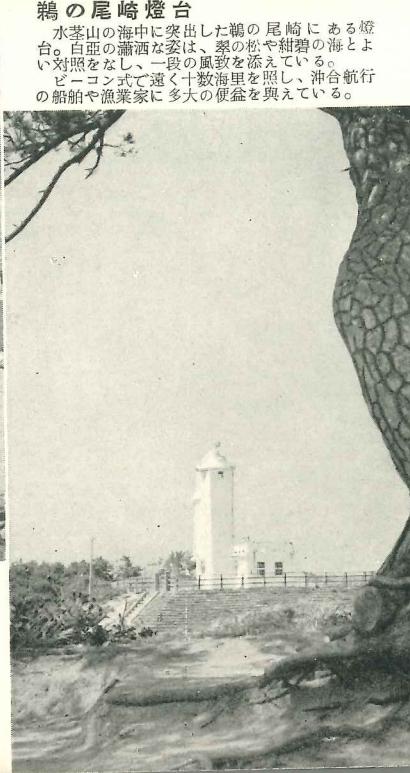




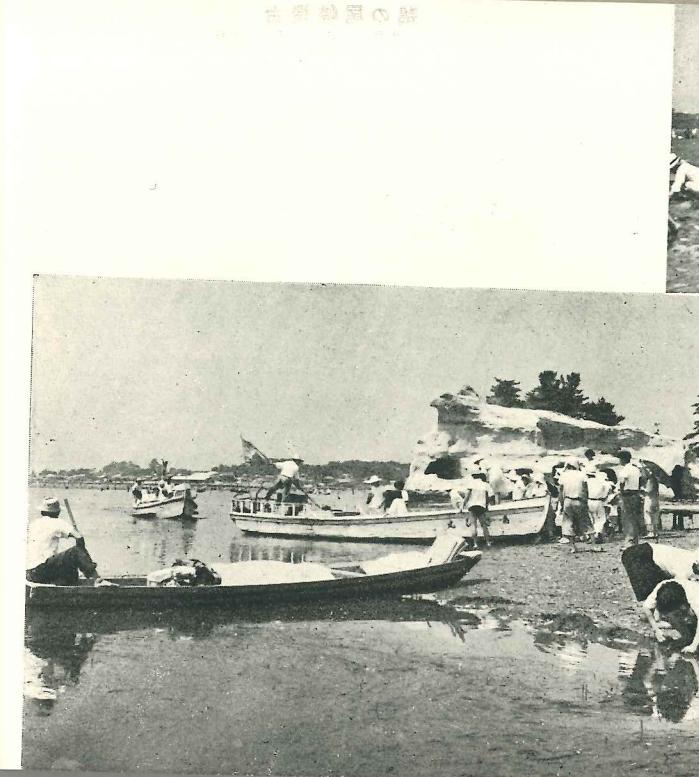
原釜海水浴場

原釜の市街地南端の丘陵が海中に突出した笠岩（西行法師が絶景にみとれて笠を置き忘れた所という）を中心に両側（原釜と尾浜）の海岸が数百米湾入し、遠浅となり波静かに砂浜く、かつ設備もう、今や絶好の海水浴場となつてゐる。太平洋の彼方、水天勝勝たる所、金華山が見える。民謡一おれと行かねば相馬の浜へさかなかせかせだいて寝る一の相馬の浜はこゝである。  
さすが日暮時代以来の漁港だけに、鮮魚も亦豊富である。中村駅東方五糸弱・國鉄バス二十円。



鶴の尾崎燈台

水茎山の海中に突出した鶴の尾崎にある燈台。白壁の瀟洒な姿は、翠の松や紺碧の海といい対照をなし、一段の風致を添えている。ビーコン式で遠く十数海里を照し、混合航行の船舶や漁業家に多大の便宜を興えている。



松川の港



松川浦

松川浦は周回十数糸の入江である。水静かにして鏡の如く、奇巖中に点在し、古松岩頭にせぐくまり、所々に網代小屋を配し、画趣、誠に拘すべきものがある。古來松島に次ぐ東奥の奇勝として名高く、元禄年間から傳つてゐる廷臣の松川十二景の歌は有名である。大町桂月は「屏風の如き山々と長汀曲浦の一に入り、今、縣立公園となつてゐる。夏には風光と涼を求めて観光客が雲集する。」

大鍋や松にかけたるあさり汁

漁家三四葉植えて松の中にあり

網代小屋の数や達きは照りかすむ

乙字

女房を呼んで船舟つきにけり

丁々

小波

碧梧桐

相馬の文学は一に松川浦によつて育まれたといつても過言ではない。  
一日の満遊をほしいまゝにしようと思えば、遊覽船に乗るのもよいが、小舟を雇つて中州に遊び、途々鮒、鯛等をあさり、釣魚を楽しみ、水茎山に登つて全景を俯観するのがよい。夏の保養地として又キャンプ地としては、浦岸から原釜釣師海水浴場（新地村）へかけて選べばよい。中村駅東方五糸弱、國鉄バス二十五円。

花

火

立秋間もない澄んだ夜空を、数百発の仕掛け花火・打揚花火が五彩に彩る。  
宇多川畔は黒山の人出で賑わう。



七夕祭

旧七夕の前後数日、メーン・ストリート田町を中心に舟を競う。



産業案内

The Guide Volnme

御婚礼衣掌  
趣味之吳服

最良の品を最低のお値段で

相馬市田町  
**太** 株式会社 武林吳服店  
電話33番

…きものに…  
…服地に…  
…いつも新柄豊富…



服地・洋品・呉服

田町

TEL 41



櫻井呉服店



何時も新柄  
豊富な店

durian

ドリヤンテックス

1956 NEW YEAR'S FAIR



泉屋呉服店

相馬市宇多川町  
鹿島店

電 405  
117